

クオリティアップ タイヤ整備



旭産業の山田社長

「エアゲージの校正を」

正しく空気圧管理を行うために

エアゲージの専門メーカー、旭産業(本社・東京都)は、クルマ社会の安全・安心を実現するために、タイヤ空気圧管理を正しく行うことが重要だと強く訴える。正しい空気圧管理を担保するのがエアゲージであり、それには定期点検が欠かせないという。同社代表取締役の山田登路氏に、エアゲージの精度管理の仕方、同社の取り組みについて話を聞いた。

一般的にエアゲージの耐用年数は、

「使用環境や使用条件によって、耐用年数は大きく変わってきます。エアゲージは工具ではなく、計測器、精密機器ですので、耐用年数自体のとりえ方が異なります。エアゲージは常に精度が保たれ、正常な機能が維持されなければなりません。従って、その耐用年数は1年。精度を維持するために少なくとも1年に1度、校正を行うことをお奨めしています」

「他の計測器にも同じことが言えますが、エアゲージは水分に弱いのです。特に圧縮空気を使った際にコンプレッサーや配管などに溜まる水が、エアゲージを故障させる原因となりま

精度を維持するためには校正を行っていただくことが重要です。有償ですが校正することで、長期間にわたり製品をお使いいただけます。毎年欠かさず校正に出されることで20年以上も当社製品を愛用いただいているお客様もいらっしゃいます。理想では、毎日の始業前に点検を行うことをお奨め

またエアゲージはその形状から工具のように思われがちですが、あくまでも計測器です。強い衝撃や振動は避けていただきたい。当社の製品は耐衝撃性に強いバネ構造を採用しています。それでも落としたり、何かにつけたり、放り投げられると故障の原因となります。大事に扱っていただくことが大切です。展開したり、精度チェ

「全国のタイヤ整備の現場では『これではやりにくい』といった問題や『こういふものができないか』などのご要望がまだまだ多くあると思います。当社としては多くのご意見をいただき、またその精度を維持することで、オーナードライバーの皆様への安全・安心を強固なものにし、信頼を勝ち取っていただきたいと思

エアゲージの校正を依頼する際は、必ずエアゲージの精度を点検してください。エアゲージの精度を点検する際は、必ずエアゲージの精度を点検してください。エアゲージの精度を点検する際は、必ずエアゲージの精度を点検してください。



をゲージを
チェッカー
精度を
使用した
点検を
依頼する
際の注意

エアゲージの精度を点検する際は、必ずエアゲージの精度を点検してください。エアゲージの精度を点検する際は、必ずエアゲージの精度を点検してください。